

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

事業会社のESGの取り組み

JFRカード

JFRカードは、クレジットカード業、貸金業、損害保険代理業・生命保険の募集に関する業務を行っている事業会社です。

JFRカードについてもサステナビリティ方針を受け、積極的にESGの取り組みを進めています。環境面では、低炭素社会への貢献を目指し、カード利用明細書のWEB化や紙ベース文書の電子化、会議の完全ペーパーレス化を推進しています。また、2019年東京事務所開設を機に、フリーアドレスの採用や職場環境の改善により、生産性の向上をはかっています。あわせて2019年3月から年間総労働時間の削減に向け、土日祝日の休日制度に変更し、ワークライフバランスの推進につなげています。

 ⇒ JFRカード HP

J.フロント建装

J.フロント建装は、建装工事請負業、家具製造を行っている事業会社です。

環境面では、2019年5月の東京事務所移転に伴う会議資料のペーパーレス化や、2019年8月に大阪工場のLED照明への切り替えを行うなど、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。また、2019年8月には、生産工場のある寝屋川・仁和寺本町自治会子ども会を招いて、「夏休み子ども工作教室」を開催し、木材加工を通じて地域との共生の活動につなげています。

 ⇒ J.フロント建装 HP

ディンプル

ディンプルは、人材派遣事業・職業紹介事業・アウトソーシング(業務委託)事業・教育研修事業の4つの事業を核に、トータルソリューションを提供している事業会社です。

女性従業員が多い企業特性から女性の活躍推進が重要と認識し、個人の能力や成果、適性、意欲に基づく人材活用を推進しています。2019年11月現在、本社・各営業所・アウトソーシング部門におけるリーダー相当職の女性比率は約65%に達しています。また、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業として、大阪市「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」、愛知県「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」、石川県「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」、静岡県「ふじのくに女性活躍応援会議」より認証を受けています。

 ⇒ ディンプル HP

大丸興業

大丸興業は卸売業および輸出入業を営む事業会社です。

環境面では、事務所のLED照明への切り替えや会議資料のペーパーレス化に取り組んでいます。また、ガバナンスの視点により、情報セキュリティの国際規格「ISO27001」をリテール関連部門で取得し、取引先情報やお客様情報の保持に努めています。同時に、自動車関連部門では、「ISO9001」を取得し、品質管理強化に努めています。

 ⇒ 大丸興業 HP

J.フロントフーズ

新たな働き方「スーパーマミー制度」

J.フロントフーズは、主に飲食店業を行っており、札幌から広島まで、全国に28店舗のレストランを展開している事業会社です。

飲食業界において、従業員の多くが女性である中、仕事と育児との両立に苦労している女性従業員や、育児により離職した女性が再び仕事に就くときに、安心して働ける環境が整っていないという課題があります。そのような課題認識のもと、より働きやすい環境づくりのために考えられた制度が「スーパーマミー制度」です。

この制度の主な特徴は以下の通りです。

- 保育園や幼稚園からの急な連絡に対応できるよう就業中の携帯電話の所持を認めています。
- 一部の店舗では、女性従業員の子どもの母親の仕事が終わるまで店舗内での個室で待機し、一緒に帰ることができます。
- 廃棄間近で翌日に持ち越せない食材を使って、自ら調理した料理を持ち帰ることができます。これは、食品ロス削減における廃棄食材の有効活用策にもなっています。

この制度導入以降、子育て中の女性の応募が増え、採用につながっています。人手不足が深刻化している中、働く人のニーズに対応した支援制度により人材確保につながっています。



 ⇒ J.フロントフーズ HP

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

消費科学研究所

新たな認証ビジネスへの参入 「HACCP(ハサップ)」の取り組み

消費科学研究所は、グループ以外の企業からも商品試験や品質コンサルティングなど様々な業務を受託している事業会社です。

昨今の消費者の「食の安心・安全」への関心の高まりとともに、政府は食品を取り扱う事業者に対して2018年「HACCP*での衛生管理の制度化」を決定しました。

この流れをビジネスチャンスと捉え、消費科学研究所は「認証ビジネス」に踏み出しています。

2019年3月には、一般財団法人食品安全マネジメント協会の「JFS-A/B規格(日本発の国際標準に整合した食品安全マネジメント規格)」の監査会社として登録(2019年12月現在全国で29社が登録)しました。これにより、食品が安全に提供できているか監査・判定を行うことが可能になりました。

現在5名の監査員・判定員が協会に登録されており、更なる増員をはかりながら事業の拡大を目指しています。

※ HACCPとは、1960年代に米国で宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理の方式です。Hazard Analysis Critical Control Pointの頭文字からとったもので、「危害分析重要管理点」と訳されています。

 ⇒ 消費科学研究所 HP

エンゼルパーク

エンゼルパークは、駐車場の賃貸業を行う事業会社です。運営する駐車場に電気自動車充電スタンド(200V)をエンゼルパーク駐車場南エリアに2台、北エリアに2台、矢場公園駐車場に1台設置しています。今後、増加が予想される電気自動車への対応に取り組むことで温室効果ガス削減に貢献しています。

 ⇒ エンゼルパーク HP

JFRサービス

JFRサービスは、JFRグループの施設事業、事務事業、購買事業を担う事業会社です。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてRPA(ロボテック・プロセス・オートメーション)を導入することで事務業務体制の合理化や高付加価値業務へのシフトによる働き方改革に取り組んでいます。2019年度はオフィス業務のペーパーレス化による紙使用量の削減や子育て・介護等の短時間勤務者への職務開発による就労支援などに重点的に取り組んでいます。また、部門ESG推進担当者会議の定期開催、当社版ポケットマニュアルの全従業員への配布、ESGニュースの定期刊行などを通じて、各事業部での取り組みを周知・啓発し、全社活動の推進につなげています。

 ⇒ JFRサービス HP

JFR情報センター

JFR情報センターは、JFRグループのシステムの開発運営、運用管理を行っている事業会社です。

環境についての取り組みとして、伝票の電子化やオンラインストレージの活用促進などペーパーレス化に取り組み、温室効果ガス排出量削減につなげています。また、分別処理のしくみの深化をはかり事務系一般廃棄物の適正処理にも取り組んでいます。

 ⇒ JFR情報センター HP